

5月3日～6日の4日間

鳴子ダムで「すだれ放流」 ～幅95m、高さ約80mの巨大な滝が出現～

鳴子ダムでは、GW期間中の5月3日から5月6日の4日間に、ダムの上部から水が流れ落ちます。幅95m、高さ約80mにわたり大きな滝のように流れ落ちる放水は、非常に迫力があります。

鳴子ダムでは、毎年5月の連休時に、ダムの上部（堤頂越流部）から水が流れ落ちます。（通称「すだれ放流」と呼ばれています）これは、かんがい用水等の確保のため、春の雪解け水で貯水池が満杯となり、ダム上部から水が流れ落ちるものです。

「すだれ放流」は、鳴子ダムが管理を始めた昭和33年から、ほぼ毎年行われてきています。

今年も、ゴールデンウィーク期間中の5月3日（日）～6日（水）の4日間「すだれ放流」を実施する予定です。なお、例年ダム下流に設置している「鯉のぼり」は、今年も5月1日から5月6日まで、大崎市鳴子総合支所が主体となり設置する予定となっています

ただし、ダム上流の江合川の水が少なく貯水池が満杯にならない場合や洪水等が予想される場合には、「すだれ放流」とならない場合があります。

「すだれ放流」の様子は、鳴子ダムホームページ「鳴子ダムライブ映像」でもリアルタイムでご覧いただけます。



すだれ放流（5月3日～5月6日）